

経営比較分析表（令和3年度決算）

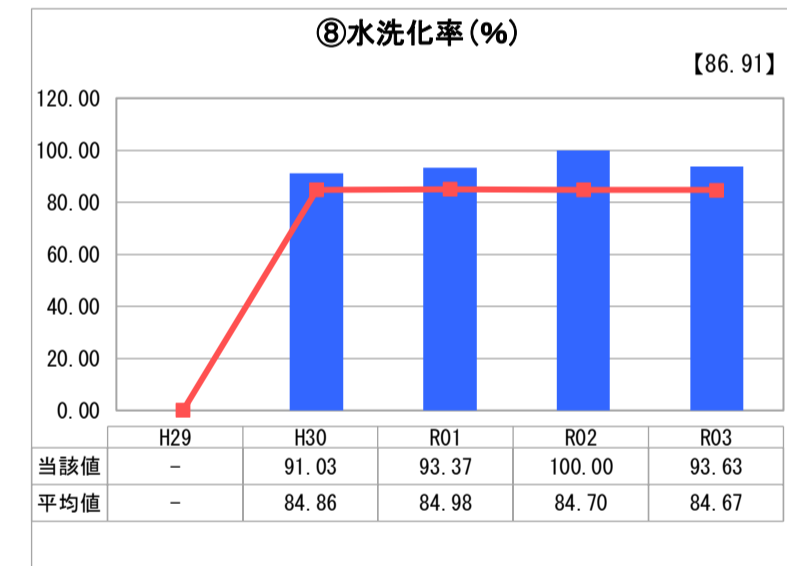
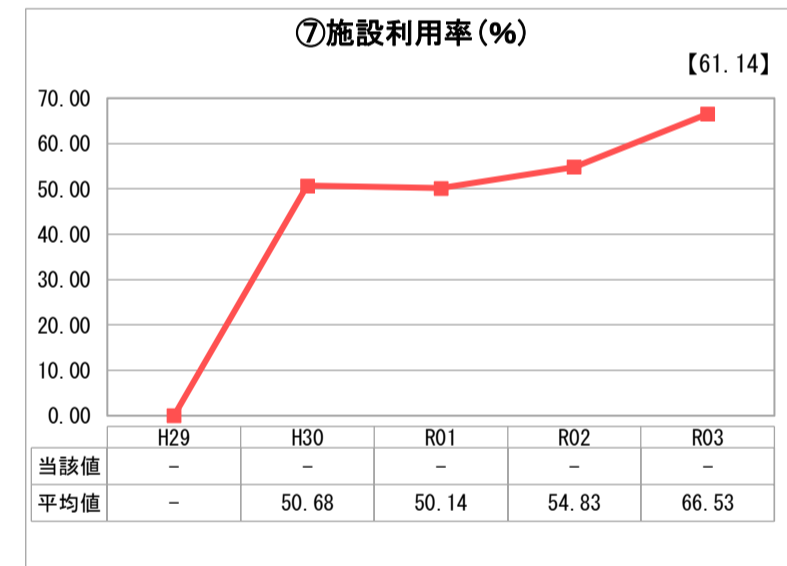
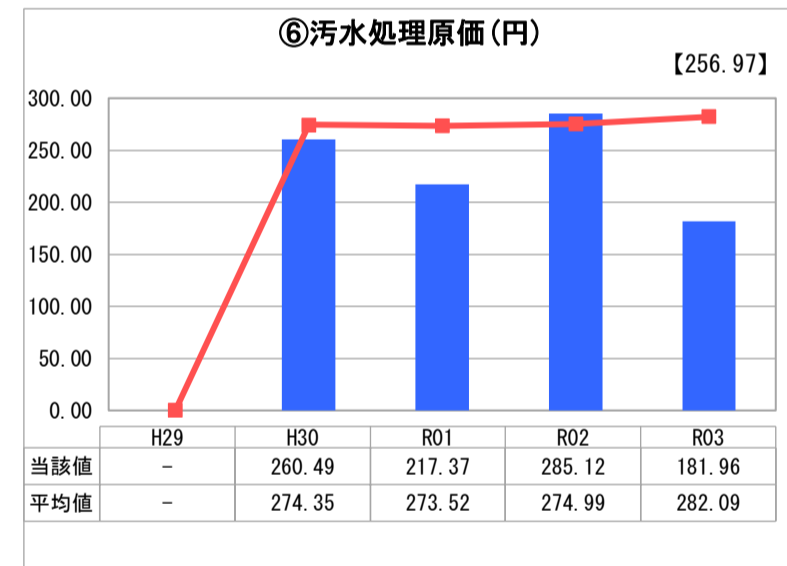
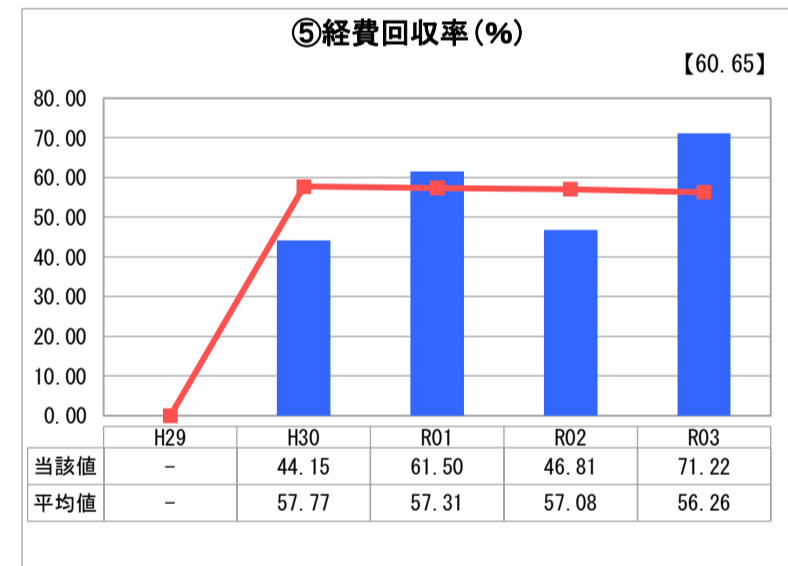
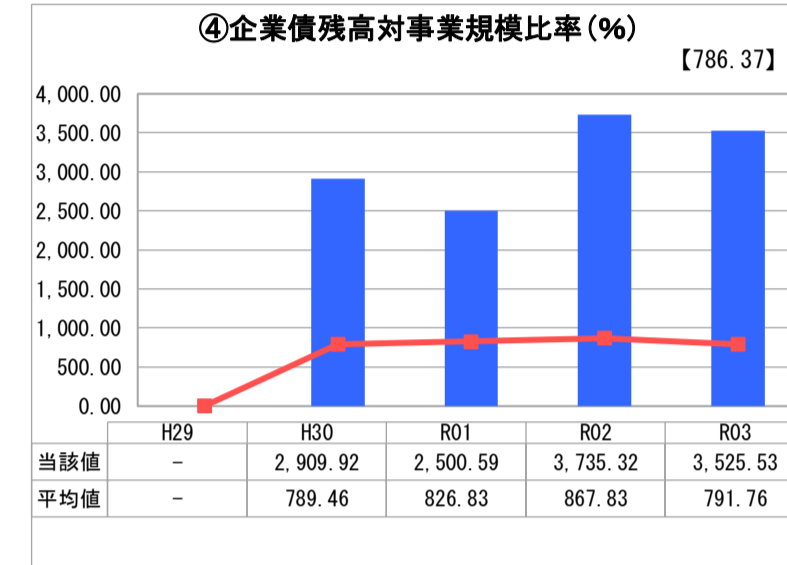
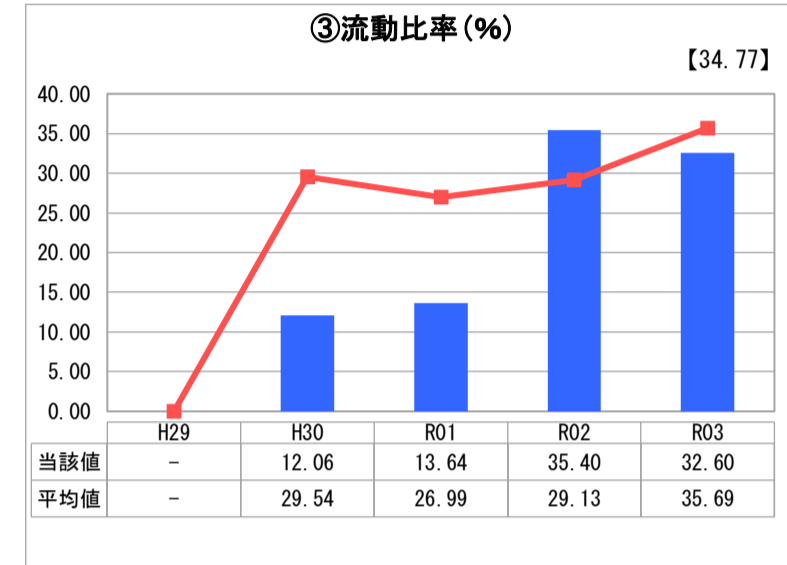
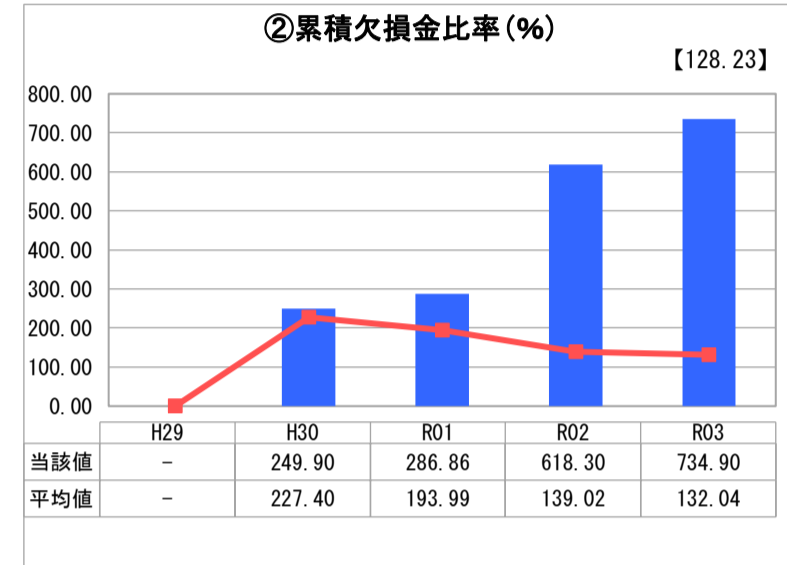
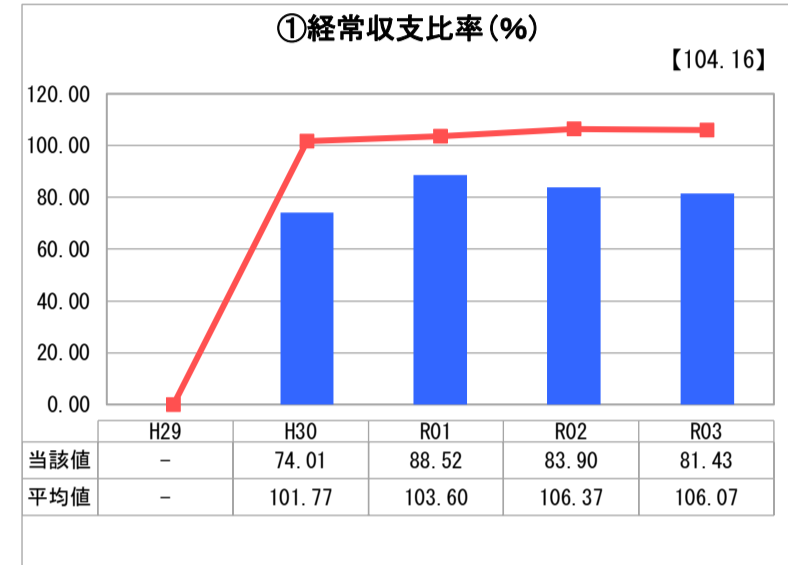
鳥取県 江府町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	32.94	32.59	100.00	3,696

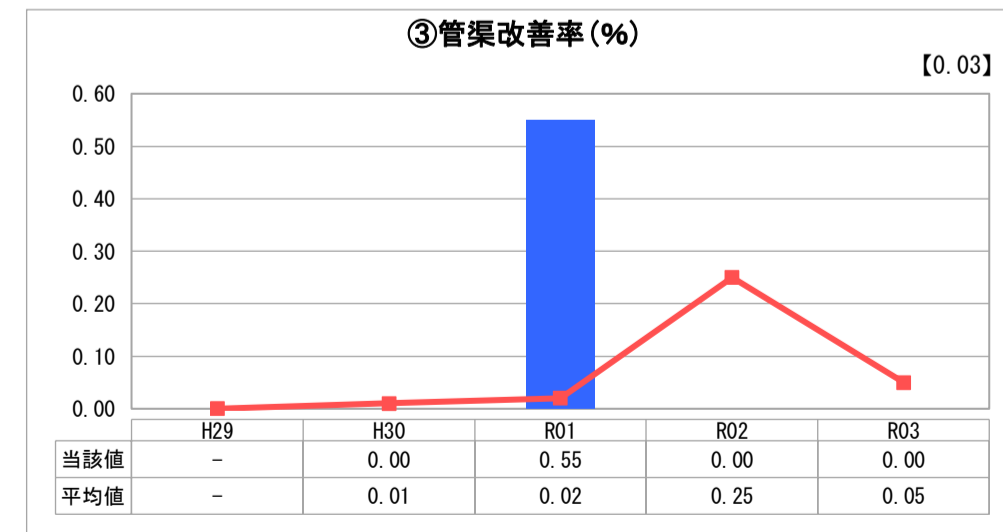
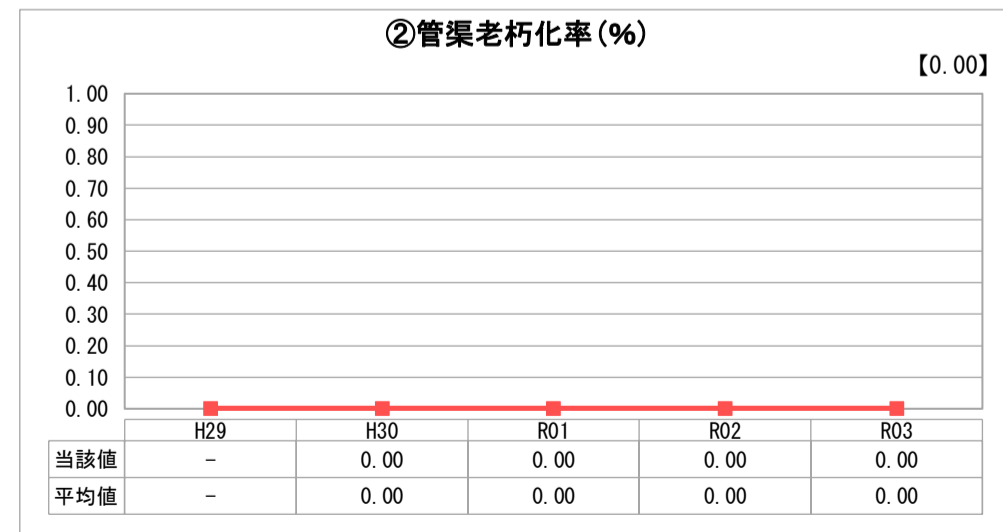
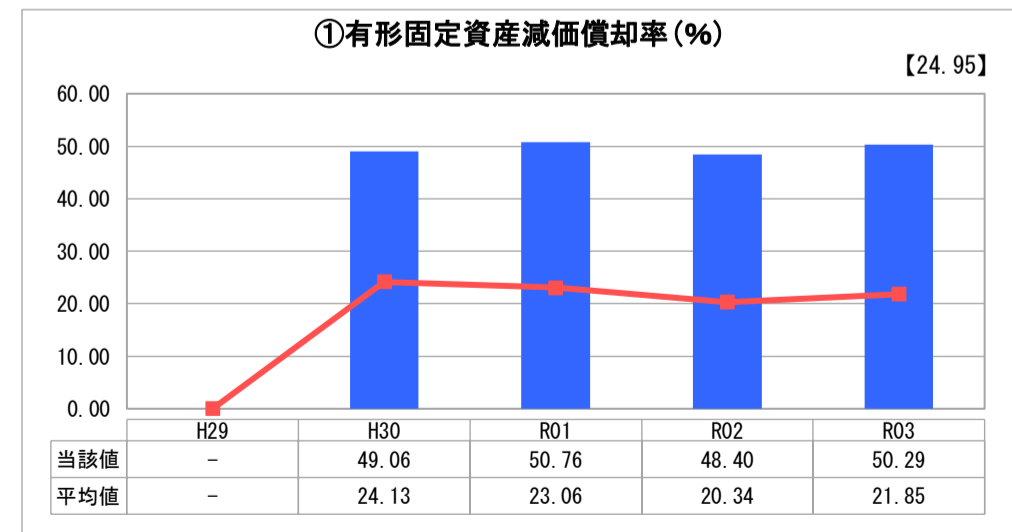
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,685	124.52	21.56
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
863	0.72	1,198.61

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率
経常経費のうち、減価償却費と支払利息で78.4%と負担が大きい。統廃合を含め維持管理経費の削減を図る必要があると考える。
- ・累積欠損金比率
過去の設備投資に係る負担が大きく、維持管理経費が増加する中、計画的な維持修繕を行なうことで、施設の長寿命化を図る必要がある。
- ・流動比率
流動負債については、そのほとんどが企業債の償還である。償還にあたり一般会計からの繰入金等でまかなっているのが現状である。
- ・企業債残高
類似団体と比較し、比率としては高くなっている。短期間のうちに整備を行なった結果であり、今後の更新等は財政状況を勘案し平準的に行なっていくかなければならないと考える。
- ・経費回収率
人事異動による人件費の減及び計画策定経費の減により汚水処理費が減少し経費回収率が上昇した。経営規模が小さいため変動幅が大きくなった。しかし、今後も人口減少により使用料の減収が予想されることから、汚水処理費についても費用の削減が必要と考える。
- ・汚水処理原価
経費回収率と同様である。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産償却率
償却年数の短い処理場に係る割合が大きく、他団体と比べ高い率となっている。順次財政状況を勘案し、計画的に更新、長寿命化を行なっていくかなければならない。また、施設の統廃合も検討する必要がある。
- ・管渠老朽化比率、管渠改善率
対応年数を超えた管渠について現在ないが、今後短期間で整備を行なっているため計画的に更新、長寿命化等を行ない経営に負担が掛からないように計画的に行なうことが重要であるとする。

全体総括

当該施設の一部を公共下水道に接続したことで事業規模が小さくなり使用料に対する施設維持経費の負担が大きくなっている。今後も人口減少が続く中、料金収入の増加は見込めない。よって、施設整備の統廃合、長寿命化などで更なる経費の削減を行ない経営改善を一層進めていかなければならない。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。